

受け継がれる

伝統芸能

下長磯の翁式三番叟

○：ほろほろとサクラ散りそめる下長磯町稲荷神社に、ピーヤロ、ピーヤロ、ピーヤロと独特の笛の音が聞える。笛にまじって、さえずえとした折(ちよき)の音もひびく。毎年四月十五日、この神社の春の例祭日に、地区の人たちが上演する人形浄瑠璃「下長磯 操、翁式三番叟」のお囃子である。

○：国道五十号の野中町を過ぎ桃木川の手前を右に折れた先にあるのが下長磯の部落。ここに古くから伝わる三番叟は、昭和三十四年県の重要文化財に指定された貴重なもの。五穀豊饒、国土安穩の祈禱のための神事芸能として土着、今に伝えられたものといわれる。

○：お囃子につれて、翁、千歳、三番と舞いがすすむ。人形一体を二人で練るのもこの舞の特長で、長い修練に裏打ちされた微妙な動

として保存しておいてください。いつかまた お役にたつことと思います

きのなかに人形が生き生きとあやつられていく。見物の人たちのなかから、拍手が起る。鈴ふりの舞があでやかに続く。「昔はね、祭の日には村を出ていった人たちがみんな帰ってきて、この神社で一年の無事を祈願したもんですよ」見物のおばあさんが、昔をしのぶかのように語ってくれる。

○：農家の長男を中心に、二十五・六歳までの若者が、後継者としていま地道に練習中とのこと。カシラに書かれた「安永九廿五月吉、細工人桐生下久方、永山熊蔵」の墨書が、伝統の深さを無言のうちに語りかけている。保存会長笠原三喜さんをはじめ座の人たちの努力で、さらに次代に引き継がれていくことだろう。(四月十五日、下長磯町稲荷神社で)



広報手帳

○造林用苗木の確保はお早めに 昨年から、異状気象によって、各地で山林用の苗木に被害が発生し、苗木の不足が予想されます。新しく造林する苗木などの確保は早めに行なってください。(渋川林業事務所)

□新規学卒求人説明会 来年三月新規学校卒業生を対象とする求人説明会を五月八日午後二時から問屋センター大ホール(問屋町)でひらきます。採用計画を持つ事業所はぜひご出席を。(前橋職安)

□5月の市民の茶席 十五日午前十時から午後三時まで、中央公民館茶室で。茶席当番は前橋茶道会の金子宗泉さん。六月は十五日、当番は永井宗百さん。

□バラ園だより▽花の見ごろ 五月初旬〜つじ類。中旬〜ドイッあやめと藤の花。下旬〜春のバラとたん。▽行事予定 5月3日〜5日 洋蘭展示即売会。5月19日〜26日 ばら苗木即売会。5月25日〜26日 盆栽展示即売会。6月1日〜5日 日本さつき会展示即売会。6月8日〜9日 盆栽展示即売会。

□心配ごと相談所だより 10日・17日・24日・31日(各金曜日)の午後一時〜四時、住吉町二丁目市母子福祉センターで。

□商業経営相談室のご利用を 市では商店経営の各種相談に応じるため市役所商政課内に「商業経営相談室」(電話24局一〇一内線二四九)を設け、毎週水曜日、専門のコンサルタントにより、無料で相談に応じています。お気軽にご利用ください。

□中小企業経営者研修会ひろく 市では中小企業のみなさんを対象に、五月二十三日(景気はこれからどう動くか)二十四日(経営の決め手はなにか)の二日間、午後六時から八時半まで前橋問屋会館で「経営者研修会」をひらきます。定員は先着四十人、受講料はテキスト代を含め千円。講師は小暮欽一郎さん。受講希望者は五月十八日までに市商政課または商工会議所業務課(電話24局一五一)へ。

□祝日のゴミ・キケン物収集 5月3日(憲法記念日) 5月6日(こどもの日)のふりかえ休日)は休みます。ごめんどうでも次の収集日にお出しください。

総合青年大学で学ぼう

18歳25歳までの青年男女対象

中央公民館では、生産学部・青年学部・商業学部を合わせた「総合青年大学」を開校、学生を募集します。

生産学部

園芸科(野菜・花・果樹)・畜産科(酪農・養豚・養鶏)・生活科学科(生活科学コースで女子のみ)の三つの学科にわかれ、募集人員は各四十人となっています。

学習内容は各部門別農業、生活技術、農業問題、一般教養、体育・レクリエーションなど。学習方法は、講義と演習、商業学部、青年学部との共通学習、現地見学、実習、宿泊研修、課外活動、研究論文の作成等。

青年学部

募集人員四十人。学習内容は、社会の進歩と青年の生き方、青年の社会参加、友情と恋愛、趣味活動、仲間づくり、全体学習。学習方法は、講義、話し合い、調査、実習、演習、レポート作成、視聴覚教材の利用。

商業学部

募集人員は四十人。学習内容は、日常の販売活動の技術(訪問の要領、商談の要領)広告宣伝の技術(広告の作成、マーケティング等)消費者の把握(接客マナー、)

私たちは日常、自分の健康を守るためにたいへん気をつけています。最近食欲がないけれどどうしたんだろうか?、太りすぎて体がだるいとか、頭痛がして気が重たいなど、いろいろのことやみだりに医師の診断を受け治療をしてもらうというように、自分の体の調整には常に神経を注いでいます。

消費節約デー

五月一日
〜十日

家庭の中のムダをなくしましょう

くらし作りを実行いたしましょう。かしこい家計づくりに家計簿をつけましょう。

●計画買い、計画消費を実行しましょう。

●家庭内の古物をもう一度生かす工夫をしてみましょう。

●生活体験発表

わが家の節約対策

昨年以来の急激な値上りには、さすがの私もがぜん奮起し、今年一月から家計簿をつけてみました。三日坊主の私でも今回だけ

成人学校

一期生募集

定員先着順で締め切り

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

一期生募集

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

中央公民館では、成人学校第一期生募集です。

市民登山の会

会員募集

【日時】第一回 5月26日(第二回 6月2日) どちらか希望する日に参加を。小雨決行貸切バス二台使用。出発午前五時国鉄前橋駅、帰着午後七時頃同駅前。【行先】尾瀬沼周辺歩行十七キロ(約六時間)【募集人員】第一回第二回とも各八十人。【会費】千八百円。【申込先】市内運動具店(ヤバタ、徳永、相川、スズキ、イソベ徳永、ユワサ)と県庁通り大井陶器店。詳細は山岳会事務局電話21局一六七九。【事前打ち合せ】5月22日午後六時から中央公民館別館大広間で。

空手道コース

先着50人まで

市民探鳥ハイキング

19日赤城山で

日本野鳥の会前橋分会主催、前橋市観光協会後援で、市民のみならず自然に親しんでいただくための「市民探鳥ハイキング」を行います。

五月十九日の日曜日、午前七時三十分前橋駅前集合、キップは各自が購入、七時四十五分発大洞行乗車終点下車。自家用車の人は午前九時に大洞終点集合してください。

コースは、赤城大洞・小沼・オトギの森・大洞で、野鳥の観察・説明・休憩をまじえて、ゆっくり歩く五時間の家族向きのもので、当日は各自昼食を持参してください。

このあたりで予想される鳥は、ゴジュウカラ、アカハラ、ミソサザ、キビタキ、オオルリ、ミソサザ、ノジコ、アオジ、ジンズイ、ウグイス、シジュウカラなど約三十種の美しいさえずりを聞きながら、午後三時大洞で解散となります。当日雨天の場合は七月二十一日に延期します。

【空手道コース】市教育委員会と市空手道連盟主催の「スポーツ教室・空手道コース」を、五月二十一日から六月十四日まで、毎週火・金曜日、県スポーツセンターで行ないます。

内容は初心者を対象とした空手道初歩技術と女子護身術で、十六歳以上の男女先着五十人を対象とします。参加費はテキスト代を含め三百円、申し込みは五月十五日までに参加費を添えて市教育委員会体育課(千代田町分室・電話32局六五三九)へ。練習当日の服装は空手道着またはトレーニングジャツ・パンツ着用のこと。

広場

公民館三三三版

嫁の立場から

永明地区 木工団地や住宅団地が増えて、農業も曲り角にきているといわれてから久しい永明地区。そんな現実のなかで、農業に精を出している川島真弓さん(上長磯町、三〇歳)は、農家に嫁いで九年をむかえている。

農業が機械化されたとはいえ、年間の手作業は相変わらず多い。「私の田畑での一人作業は年々多くなりました。なれない労働と長い沈黙の時間は、正直いって、きついものです。農業を愛しながらも、目の前に私の手を待つ作業は限りなく続きます。」

嫁だと思っても、自然は妥協することなく、四季折々の変化を見ながら、私に挑戦とも思える働きかけをするのです。孤獨がちの仕事、日々乗り切っている川島さんは、市労働教育委員会の勤労者生活文に応募「農業と私」と題した生活文で二席に入選している。また、永明公民館が主催する若妻学級でも「今後の農業と嫁の役割」という体験談を発表している。

新緑の五月、川島さんの農作業も一段と忙しさを加えるシーズンとなった。

太々神楽

東地区 上新田町の雷電神社には、安政年間末期、総社神社から伝授されたという「太々神楽」が受け継がれてきている。ことしも、四月八日の春祭りに、桜咲く雷電神社で二十座の神楽舞が披露された。美しい神楽の音に誘われて、地区の人たちも連れ立って見物。参観の人たちの中には団地の人々も多く、わが子の手を引き、新しい故郷で、神楽舞と素朴な舞いぶりに、深く魅せられた一日だった。

この神楽についての古文書等は昭和二十年八月十四日、当時役員であった中林武太郎さんに保存しておいたところ、空襲ですべて焼失してしまった。幸い神楽面などの小道具だけは、佐藤高六さんの土蔵に置いたために難をまぬがれたという。

激しい戦争のさなかでも、地区の人たちの手で一度の休みもなく続けられてきた神楽は、これから上新田の人たちの貴重な郷土芸能として生き続けることだろう。(上新田町雷電神社の太々神楽)



東地区 上新田町の雷電神社で披露された太々神楽の舞。

橘吟詠会

南橋地区 詩吟ブームが各地にひろがっているが、とりわけ南橋地区では、いま、なかなかの盛況ぶり。南橋地区に「橘吟詠会」が発足したのは四年前、年々会員が増えて、今では百五十人の大所帯となっている。

百五十人の大所帯に、南橋地区 詩吟ブームが各地にひろがっているが、とりわけ南橋地区では、いま、なかなかの盛況ぶり。南橋地区に「橘吟詠会」が発足したのは四年前、年々会員が増えて、今では百五十人の大所帯となっている。

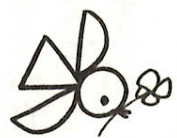
百五十人の大所帯に、南橋地区 詩吟ブームが各地にひろがっているが、とりわけ南橋地区では、いま、なかなかの盛況ぶり。南橋地区に「橘吟詠会」が発足したのは四年前、年々会員が増えて、今では百五十人の大所帯となっている。

百五十人の大所帯に、南橋地区 詩吟ブームが各地にひろがっているが、とりわけ南橋地区では、いま、なかなかの盛況ぶり。南橋地区に「橘吟詠会」が発足したのは四年前、年々会員が増えて、今では百五十人の大所帯となっている。

お待たせしました！

日本一の市立図書館

5月15日オープン



優美な装いで 5月15日の開館を待つ市立図書館。

五月の青空にくっきりとはえる茶褐色の優美な装い。現代建築の粋を集めた文化の殿堂、市立図書館が完成しました。市制八十周年を記念して、昨年の一月起工、一年四か月の間、市民のみなさんにご不便をかけましたが、内容も一新し、質実ともに日本一の市立図書館として、いよいよ五月十五日から開館します。新図書館の位置は桃井小学校の北、水道会館の東隣りの旧図書館跡で、建物は地下一階、地上三階、延べ面積四、六六〇平方メートル、工費は約四億五千万円です。この建物には三十万冊の図書収容力があり、市民一人一冊の計算で、人口三十万人分の図書が所蔵できるようになっています。ゆったりとした空間、気軽に利用できる市民図書館として、日常生活に密着した、あらゆる知的な要求に応えられるサービスが考えられます。従来の図書館のイメージをまったく変えた、明るい雰囲気はまさに文化のオアシスとなるでしょう。全館冷暖房設備の快適な施設です。市民の書齋としてご利用ください。このページは、開館間近かな市立図書館の特色にふれて、市民のみなさんを一足先に紙上からご案内することにしました。

新図書館の外観

茶褐色の色調に統一

図書館の近くに寄ると建物全体がレンガづくりのようにみえますが、実はこれはレンガのつみ重ねではなく、特殊な焼き方によるタイルのはりあわせです。建物と同じ色のものが道路から階段式にめぐられ、前庭もすべてこの色調に統一されています。前庭の桜の木はいま花が散って葉桜が生き生きとしています。その下にはケヤキの木目も新しいベンチがおかれ、散策路としても気分を落ちつけてくれます。このベンチにもやがて子供連れの家族が、昼休みのオフィスレディが、学生たちがそれぞれにやってきては語らい、図書館から借りてきた本をひろげてみている姿がみられることでしょう。

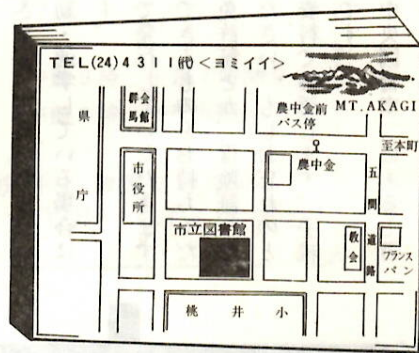
それでは建物の中に入ってみましょう。

一階

入口と中央ロビー

車椅子での利用も配慮

入口は二つ設けられています。南の入口は桃井小学校側、東の入口は農林中央金庫の脇を入った道路に面しています。南の入口にあるゆるいスロープは車椅子でくる人たちのためのものとして特別に配慮されたものです。二つの入口には案内板があって行事や催



親子読書室

寝そべって絵本が読める

しものが書きこまれています。入口はいずれも黒い色調で、建物全体の茶褐色とよく調和し、重厚さを感じさせます。金文字の「前橋市立図書館」の標札が横書きで浮き出しています。入ったところに傘立てがあつて、ドアはおとしよりや幼児でも自由に入れるように自動扉になっています。二つの入口を入つてくると自然に広いロビーに出ます。公衆電話、水飲み、手洗い所があります。手洗いは車椅子のままでも利用できるようなつています。この「中央ロビー」は、南と東の入口を結び、自由に通り抜けが出来ます。近道にはもつてこの通路といえましょう。にわか雨に逢った時、夏の暑い日にのどが乾いた時、通りすがりにこのロビーをご利用ください。高い天井からは、やわらかい光が流れてきます。そこには各室を案内する方向指示板がたれさがっています。はじめての方も迷わず目的の場所にいけるようになっています。

ここは主に幼児から小学校六年生までが利用できます。一万冊の本が書棚に並んでいて、五十人の席が用意されています。



カーペット敷きの親子読書室

を続いで聞かせることもできます。この部屋からは「屋外読書室」に出ることが出来ます。気候のよいときには庭に出て芝生の上や樹木の下で読書が楽しめるようになっています。

中央図書室

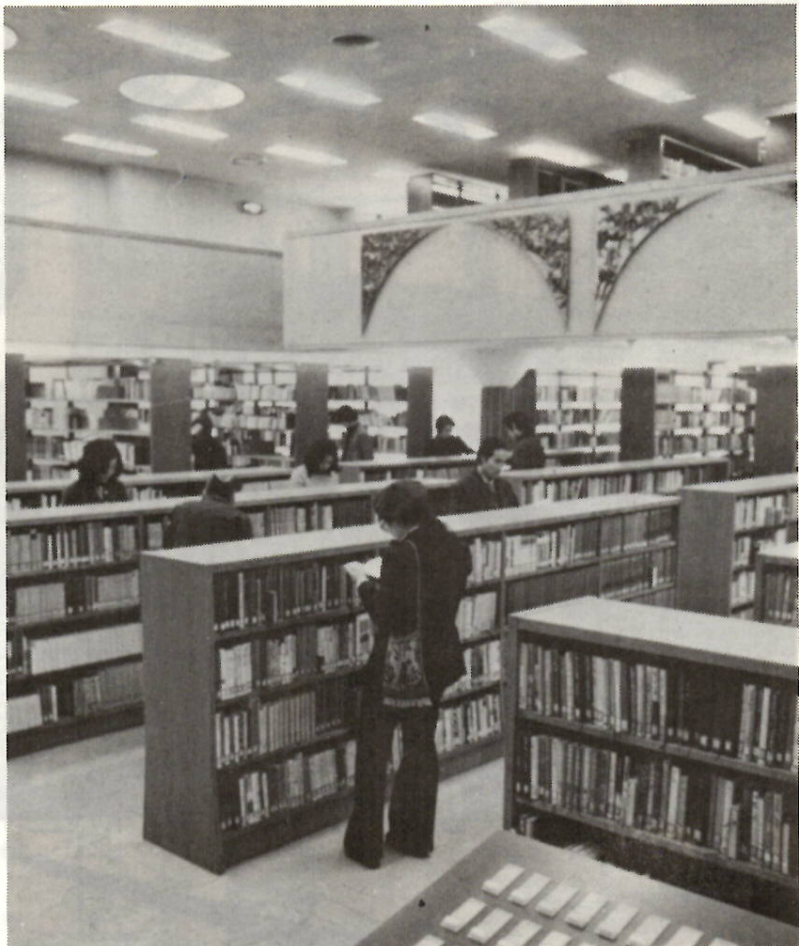
七万冊の本が自由にとり
選べます



一階

前ページにつづく

新しい図書館の中心となるのがこの室です。中央ロビーから自然に入れるようになっています。約七万冊の本が書棚にあるのは、さうさうがに図書館だという実感を持つことができるでしょう。七万冊といえは、大変な数です。どこに何の本があるのかは、初めての人にはなかなかわかりにくいでしょう。もちろんカウンターの係員に訪ねれば親切に教えてくれますが、入ったすぐのところに「電光掲示装置」があります。例えば園芸の



7万冊の本が並ぶ中央図書室。自由に手にとって選べます。

本をみたいとします。そこで電光掲示板の中にある「園芸」のボタンをおすと書棚にランプがつき、求めている本の位置を示してくれます。こうした試みは全国の図書館でもまだやっていないまったく新しい方法です。ここにある本はすべて家に借りて行くことができます。この室で自由に本を手にとり、短時間読書したい人もいます。そんな時はこの室の隅にあるソファで腰をおろして「軽統

新聞雑誌室

新聞十二紙・雑誌二百種が展示されます

東の入口を入ったところに「新聞雑誌室」があります。その日の新聞は十二紙、茶の間のマガジンラックを思わせる新聞差しに入れています。およそ一年分までは一か月ごとに整理して保存ケースにおかれてあります。雑誌は約二百種類が展示されていて、ここの利用は駅の待合室のように休憩をかねてくつろぎの場として市民のみなさんに利用していただけることでしょう。

読書室

老人向き日本間も

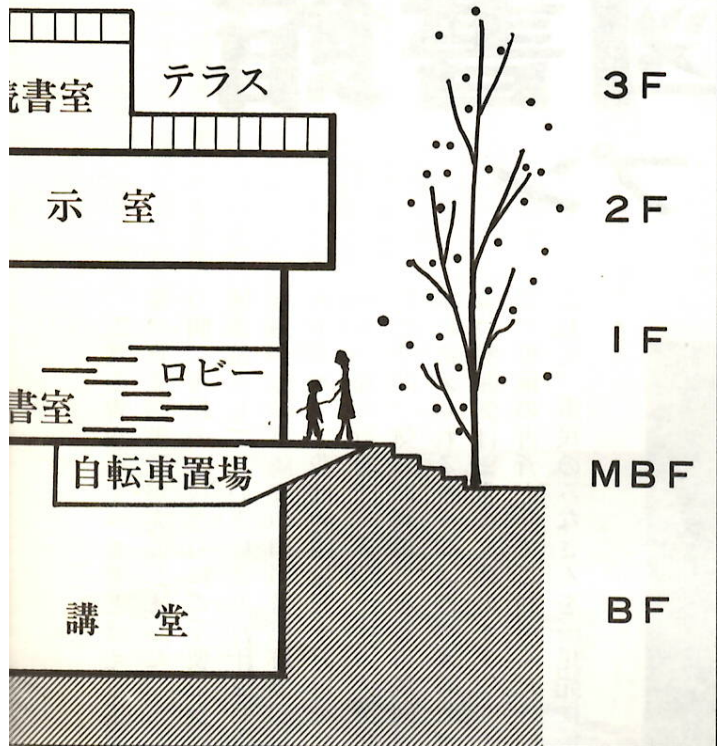
ここは一般成人の方の読書室で、座席数八十席があります。自分で持ちこたなられたものをこの室で利用出来ますし、中央図書室の



市民の茶の間を思わせる新聞雑誌室

本をここで利用できます。「日本間読書室」が併設されていておとしよりなど座机ですわったまま読書ができますので老人コーナーも兼ねています。新しい図書館は建築の上まざまな楽しい夢がふかされています。建物を取りまくまんなかに庭が地下から生えている竹林が見えるしくみになっています。読書室で疲れた目を外にやると、青々とした竹の姿が気持ちをなごませてくれます。夜になるとライトがこの竹林を映し出し、さらに一段と情緒の世界に誘ってくれます。この竹の詩的な雰囲気は全館各室からみわたせまです。「群馬の孟宗竹」をテーマにして選んだものです。車椅子の方はこの室から、事務棟に出てエレベーターで各階に出られるようになってい

館立面図



はあなた!

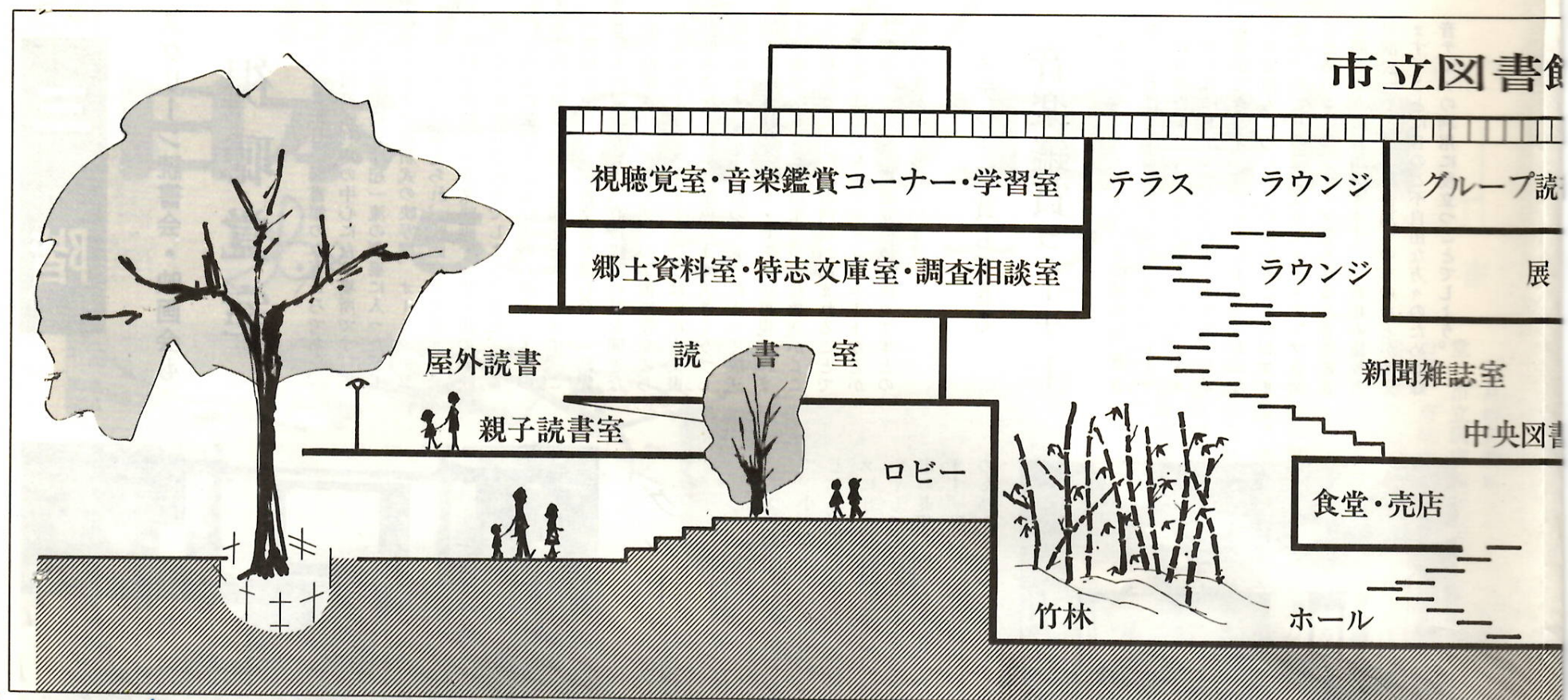
ご利用を》

日間
んたんです



《借りる手続き》市内に住所のある方は零歳から、かんたんになります。市外にお住まいの方でも、市内に通勤・通学している場合は同じ手続きとなります。まず利用券を受付で発行していただきます。この場合住所が確認できるものをお持ちください。たとえば運転免許証とか、保険証、学生証などをお持ちください。もしお忘れのときは、図書館にある資料で確認します。手続きはこれだけで終了です。《借りられる本》「中央図書室」にある七万冊と「親子読書室」の一万冊、それに書庫にある約二万冊、合せて十萬冊の中から選ぶことができます。わからないことや、お急ぎの

五年からのものがあって、特別に設けられた新聞機でゆっくり自由にみる事ができます。夏休みには子供さんを連れとお母さんの姿が毎日のようにみられることでしょう。この室からの展望は眼下に桃井小学校のみのり樹をのぞみ、遠方は前橋駅のあたりのビルが静かにみられます。にぎやかな自動車



この図書館を生かすの

《ご家族みんなで、この機会に一層の

図書の貸し出しは

1回2冊、15日

手続きは全くか

市立図書館利用あんない

- * 利用はすべて無料です。
- * 開館時間
月曜日～金曜日 午前9時～午後7時30分
土曜日 午前9時～午後5時
- * 休館日
日曜日・月末・国民の祝祭日・蔵書整理期間
- * 電話(24) 4 3 1 1 (代表) <ヨミイイ>

時は係員に話して、みつけてもらいましょう。
《借りられる冊数と期間》一回に二冊、期間は十五日間です。

展示室

デラックスな

二階

じゆうたんを敷きつめたデラックスな展示室は、一か月に二回ほど展示品を入れかえて、図書館にある貴重な資料を訪れる人たちにみていただくことになっています。開館直後は新発見資料による「萩原朔太郎展」を予定しています。朔太郎使用になる「横笛」「和服」「灰皿」「印章」その他の遺品をはじめ「楽譜」「原稿」「朔太郎撮影の写真」など、めずらしいものが展示されます。展示室にある窓からはカソリック教会の風景がよくみえます。三角の緑色の塔が窓わくいつぱいにひろがり、一枚の絵画をみるように設計されています。



図書館所蔵の貴重な資料が常時展示されます

郷土資料室

貴重資料がいっぱい

郷土に關係した図書を集めた室で、貴重なものがたくさんあります。「群馬県史」「前橋市史」「戦災と復興」「前橋史話」「市勢要覧」などがあります。ことに上毛新聞は大正

調査相談室

七千冊の辞書・事典そろ

約七千冊の辞書、事典、年鑑等の参考書が置かれています。図書館はたえず変りゆく時代の情報源を整理し、新しい時代の要請に十分こたえられなければならないと考えています。そこでこの室の図書館の頭脳部分としてみなさんに利用していただくように配慮されています。さまざまな相談や調べごとに応ずるため専門の職員が調査と相談にあたります。会社の所在地や内容を調べるために「会社総覧」有名人の略歴や住所を知るために「人事興信録」などが使われるでしょう。その場でゆつくり調べる人のために二十人分の座席がいつでもお待ちしています。いそがしくて、図書館に來られない人は電話でお答えします。図書館の電話番号は(24)局四三二二と覚えてください。

豪華本が並ぶ

特志文庫室

市内の篤志家の寄贈による文庫が設けられています。「原島文庫」「今成文庫」「江野沢文庫」「平方文庫」「藤枝文庫」などがあります。それぞれに内容に特色があり、美術書、旧刊の全集物、政治経済書などにわかれていて、いずれも一般家庭では手に入りにくい豪華本ばかりがそろっています。図書館に寄せたこれらの方々の意志を尊重し、大切に利用したいものです。

貴重資料の利用については...

二階には貴重資料があつて「松平藩資料」や「萩原朔太郎文庫」などの貴重な原資料はこの室に大切に保存されています。この室の本は市民共通の貴重な財産ですから、大切に扱っていただくため、一般の方が自由にここに入ることはできません。係員に申し出て、特志文庫室の机でお読みください。その机は研究者用の特別製で地図や古文書などをひろげてみられるよういくぶん大きく作られ、蛍光灯つきのものが設置されています。

車椅子で全館を利用できます

三 階

スクリーン読書会・映画会も

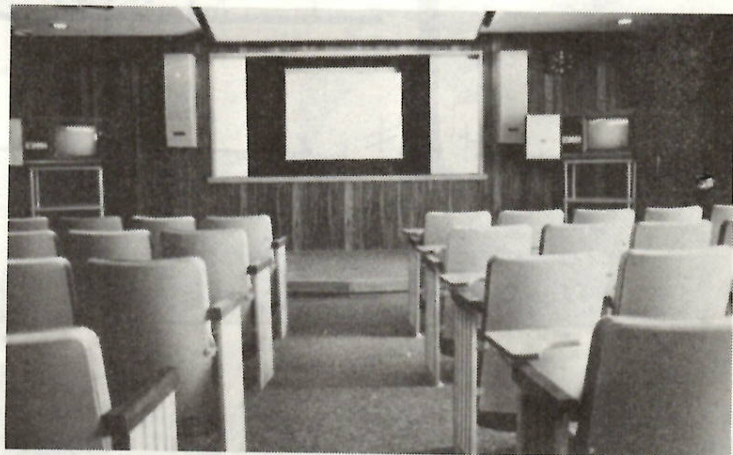
視聴覚室

この室も新しい図書館のみどころであり、今後の図書館利用の中心になる場所です。五十人の固定椅子は超一流の劇場に入った感じを受けます。最新式の映写機、オートマチックスライドが備えられ、映画会ができます。「科学映画」「音楽映画」「思い出の劇映画」などが映写されるでしょう。また、ここには日本に数台しかないといわれる、大型の「実物反射投影器」が備えられています。この機械を使って、「古文書を読む会」「幼児と絵本の遊び方」など、直接講師の話を聞きながら投影され、グループでの学習に役立てられるでしょう。スクリーンいっぱい古文書が拡大され、絵本は原色のまま大きくうつし出されます。また、三台のテレビによって放送局で放映されたテレビ・ビデオが再現されます。家でみることが出来なかった放送がここでみられるように行事内容が組まれることでしょう。ほかにもステレオコンサートなどが計画されていて、視聴覚機械を使って本との結びつきが考えられています。

ステレオ鑑賞もできる

音楽鑑賞コーナー

五台のヘッド・ホンつき機械が用意され、三台は音楽鑑賞用のものです。プレーヤーに好きなレコードをセットし、ヘッド・ホンを耳にあてて一人で心ゆくまでステレオ鑑賞ができます。音がそとにもれることがないので他人にめいわくのかかることがありません。のこりの二台はカセット・テープを聞くためのもので、テープを入れると音楽鑑賞と同じように利用できます。「首相の施政方針演説」や「語学練習用」のものなどが使えます。ことに目の不自由な方々のために録音テープの利用に役立つことでしょう。



デラックスな雰囲気視聴覚室では楽しい行事が行なわれます。

グループ読書室

自然光が行き届く

この室は自然光線が最もゆきとどいた場所です。小グループによる読書会や話し合いの場として利用できます。この室に接続したテラスに出ると花壇があつて、読書に疲れた目をいやすてくれるでしょう。またここからは、市の東部にあたる市街のひろがりが見望されます。風のよい日は商店街のアパレルののんびりとみられるでしょう。



学習室

120人収容

窓から赤城が見える

中学生以上の学生のための室で、百二十人の席があります。北の窓には赤城がみえ、西の窓からは上信の山々がみえます。午前中の赤城・午後の上信の山々は光線の関係でそれぞれに美しくうつります。長時間の勉強のあいだに郷土の山々をながめるのも趣の深いことでしょう。学習にいつその成果があがることと思います。

地 階

竹林の庭が印象的

食堂・売店

黄土色の明るい壁、やわらかいじゆうたん、疲れた時は中階の「食堂・売店」のしやうしやな椅子に腰をおろしてください。そこにある長方形の窓からは、竹林の庭がながめられます。コーヒーをすすり、トーストをたべ軽い中食をとることができます。インクのスパ、レポート用紙など簡易な文具も扱っています。ここは談話をかねた「図書館の茶の間」といえるでしょう。

定期読書会や講演会も

二百人収容の講堂

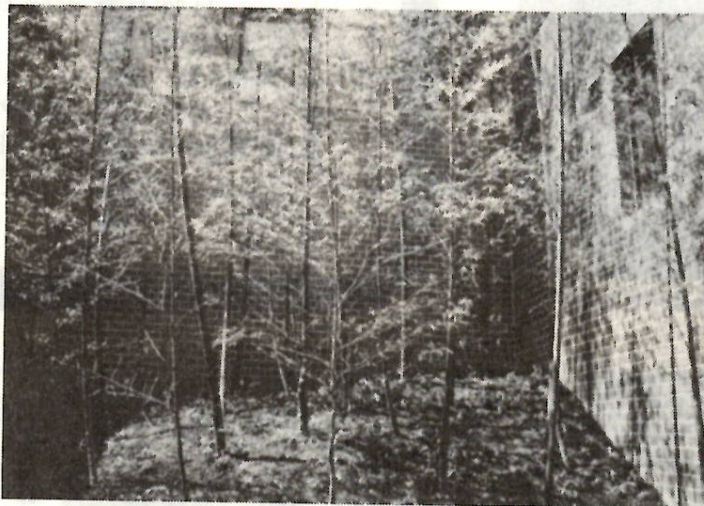
静かな学習室の窓からは赤城山がみえる。地階の講堂は二百人を収容できる広さをもっています。読書週間の行事や「文芸講演会」、図書館主催の「ママさんライブラリー」「定期読書会」「本の集い」など毎月、さまざまな行事がここで行なわれます。講堂のロビーには一板の大きなガラスがはめこまれ、庭が手にとるようにみえます。

黒い土に熊笹が植えられ、青竹が高くのびているさまがみられます。三年ほどすると、この竹の庭はほぼ自然の形に成長し、夏のはじめには「竹の子」が顔をみせるでしょう。冬には雪がつもって緑の葉に雪景色をみることが出来ます。暖房のきいた室内からこうした自然の姿をみるのも楽しいことです。

自転車でこられる人には

東の道路から自転車置場に降りる坂道があります。中階の部分に自然光線を取り入れたスペースがあつて約百台分が入るようになっていきます。気軽に自転車でおいでください。

竹のみどり地下からせり出し全館どこからもみられます。



市立図書館にある本の数 (49.5.1現在)

哲学・宗教	12,337冊
歴史・地理	11,690冊
しやかい	13,419冊
自然科学	5,013冊
工業・家庭	3,756冊
産業・交通・園芸	2,449冊
芸術・スポーツ	5,233冊
ことば(語学)	1,490冊
文 学	17,729冊
日本の小説	3,883冊
郷土の本	15,096冊
古い本	16,069冊
その他	48,508冊
合 計	156,672冊

忌 太郎 朔

記念のつどい

5月19日市立図書館

本市が生んだ詩人萩原朔太郎は昭和十七年五月十一日に世を去りました。この詩人の命日を記念して昭和三十八年以来、毎年「朔太郎忌」の行事が行なわれて来ましたが本年も左記のように予定されています。

【日時】五月十九日(日曜)午後一時より【場所】前橋市立図書館・講堂(地階)【主催】萩原朔太郎研究会・前橋市立図書館【語る人】町田嘉章(邦楽研究家) 関俊治(県立図書館長) 西脇順三郎・伊藤信吉・那珂太郎・佐藤房儀・他。なお当日は同図書館展示室で、新資料による「萩原朔太郎展」を行なっています。



萩原 朔 太郎

百日せき・ジフテリア・破傷風

予防接種

●対象の子どもさんは必ず受けましょう



百日せき、ジフテリア、破傷風（三種混合ワクチン）の予防接種を行ないます。日程表の会場へお出かけください。

対象者は、第一期が四十八年八月一日から四十九年一月三十一日までの出生者と前回の該当者（四十八年二月一日～七月三十一日までの出生者）で、第一期（約三週間から八週間の間隔で三回接種）接種を完了していないお子さん。第二期が四十七年二月一日から七月三十一日までの出生者と前回の該当者（四十六年八月一日～四十七年一月三十一日までの出生者）で第二期接種を完了していないお子さん。（第二期は第一期完了後十二か月から十八か月経過後に一回接種する）

①当日、昼の体温を計ってきてください。子供さんの体温は予診の際に聞かれます。②問診票を記入していただきますから、責任をもって記入してください。③接種前に医師が問診を行ないますから、責任をもって答えられる人が付き添ってください。④母子手帳を忘れず。⑤接種後の注意

各種健康相談

母親学級

接種後の注意

①接種を受けた当日は、過激な運動、入浴をさけてください。②接種部位が赤くなったり、痛んだり、軽い発熱があります。異常な状態があるときは、医師の診察を受けてください。

●対象者みなさんにお願ひ
予防接種は、約一か月の間隔で三回受けることになり、かなり大

市が実施する定期接種を受けられなかった人で、後日接種を受ける人は、次の手続きをしてください。
●予防接種が受けられなかった人
予防接種の対象者は、ほとんどが乳幼児であるため、ちょっとした不注意にも体調をこわすことが多く、接種会場で「禁忌」となる人、あるいは疾病や、やむを得ない事故などで、接種を受けられない人もかなりいます。

疾病等で接種を受けられなかった人のために

●定期内に受けられなかった人
①証明書交付申請（疾病や、やむを得ない事故のため、定期内に予防接種を受けることができなかった人）

百日せき・ジフテリア・破傷風予防接種日程表			
第1回	第2回	会 場	時間
5月20日(月)	6月17日(月)	城南小学校 天川 "	時間は、各会場とも午後二時から三時まで
5月21日(火)	6月18日(火)	上川湖公民館 下川湖 "	
5月22日(水)	6月19日(水)	永明 "	
5月23日(木)	6月20日(木)	駒形小学校 東公民館 "	
5月24日(金)	6月21日(金)	元総社 "	
5月25日(土)	6月22日(土)	総社 "	
5月26日(日)	6月23日(日)	清里 "	
5月27日(月)	6月24日(月)	若宮小学校 岩神 "	
5月28日(火)	6月25日(火)	南橋公民館 芳賀 "	
5月29日(水)	6月26日(水)	城東小学校 桃井 "	
5月30日(木)	6月27日(木)	桂萱公民館 城南地区母子健康センター	

地第三集会所。
5月17日(金) 総社公民館
5月27日(月) 朝倉団地公民館、下川湖公民館、中石倉公民館、駒形会館。
○：家族計画相談も同時に行ないます。時間は、午前九時から午後三時まで。ただし、南四丁目公民館については午前九時から十二時まで。
○：保健所の健康相談
①第三回婦人健康教室 対象は市内に在住する婦人。受講希望者は、電話または住所、氏名、電話番号を記入したハガキで、前橋市国領町二丁目二二二前橋保健所衛生課栄養係（電話31局七二二）へ五月十日までに申し込みください。受講料は無料。ただし、料理実習材料費は実費負担。日程は、毎月一、二回で計十五日間。五月は十五日。
②乳幼児健康相談 第一週が一月から四月、第二週が五月から八月、第三週が九月から十二月、各金曜日午前九時から午後三時まで。
○：医師会育児相談
五月八日・二十二日の二日間、群馬メディカルセンター三階育児相談室で乳児を対象に。受付時間は、午後二時から三時まで。
○：先天性股関節脱臼検診
五月十五日(水) 前橋市水道会館ホールで、満三か月の乳児を対象に。受付時間は、午後一時三十分から三時まで。
○：三歳児検診
市では、満三歳になった子どもを対象に検診を行ないますので、母子健康手帳をお持ちのうえ、忘れずにお受けください。
なお、本年度からは、次の二会場でも実施します。
5月9日 前橋市水道会館二階大ホール（大手町二丁目二二二市役所東隣）
5月22日 前橋保健所（国領町二丁目二二二）
○：いづれも受付時間は、午後一時四十五分から三時三十分まで。
なお当日は、尿検査（蛋白）も実施します。
○：妊婦検診（城南地区）
五月二十一日前橋市母子健康センター（二之宮町）で、内容は尿蛋白、尿糖、血液検査、血圧測定、診察、栄養指導など、受付時間はお持ちになってお出かけください。

間は、午前が妊娠五か月から七か月の人、午後が八か月から十か月の人。
○：時間は、午前が九時から十一時、午後が二時から三時まで。
○：股関節脱臼検診（城南地区）
五月十日午後二時から三時三十分まで、前橋市母子健康センター（二之宮町）で。対象は三か月から四か月の乳児。
○：血圧測定（城南地区）
①五月八日 筑井町の二十歳以上の希望の人を対象に、筑井町公民館で。
②五月九日 小屋原町の二十歳以上の希望の人を対象に、小屋原町公民館で。
○：両日とも受付時間は、午前十時から午後三時まで。
○：乳児検診（城南地区）
5月14日 下大屋町、泉沢町、富田町。
5月15日 西大室町、東大室町、飯土井町、荒子町。
5月16日 二之宮町、小屋原町、新井町。
5月17日 荒口町、筑井町、上増田町、下増田町、下大島町。
○：生後二か月から十二か月の乳児（四十八年四月一日から四十九年三月三十一日生まれ）を対象に、前橋市母子健康センター（二之宮町）で。受付時間は、午後一時から三時まで。
●心身障害児者の歯科診療
県歯科衛生総合センターで、歯科衛生総合センターでは、在宅身体障害児・者、在宅精神障害児・者、在宅重症心身障害児・者（施設入所者の受診も可）を対象に、大友町一九七群馬県歯科衛生総合センター（電話52局〇三九一）で、診療を行ないます。
○：診療日は毎週月曜・水曜日の午後（事情により午前からも可）から。診療希望者は、事前に電話で申し込みください。受診方法は通常の医院と同じです。保険証をお持ちになってお出かけください。

温水プール・トレーニングセンターで、年間を通じて初心者を対象とした講習会を開いていますので、多数ご参加ください。
○：水泳講習会
▽一般男女コース 毎週日曜午前十一時～午後一時。受講料は一般入場料金と同じ。▽親子コース 毎週水曜午後一時～三時。受講料は一般入場料金と同じ。▽トレーニング講習会
▽一般男女コース 毎週日曜午前十一時～正午。▽家庭婦人コース 毎週水曜、午前十一時～正午。▽小学生コース 毎週金曜午後三時～五時。各コースとも定員は五十人、受講料は一般入場料金と同じ。
○：申し込み 温水プール・トレーニングセンター（電話33局二四九六・31局九八三八）へ。お問い合わせもどうぞ。

市民プール臨時職員募集
場内監視員15人・補助員14人
市民プールでは、次のとおり臨時職員を募集します。
募集人員は、監視員十五人（高校生以上で泳げる人）、補助員十四人（高校生を除く）。賃金は時間給とし、監視員補助員とも二百三十円です。
○：勤務期間と時間
六月十三日から九月八日までとし、六月と七月は午前八時三十分から午後六時まで。七月と八月は午前八時三十分から午後九時まで。
ただし、二人一組による交代勤務もできます。休日土曜・日曜を除く週休二日です。
○：希望者は、五月二十日までに履歴書を添えて、岩神町一丁目10番1号前橋市温水プール・トレーニングセンター（電話33局一四九六・31局九八三八）へ申し込みください。
●勤労者住宅資金の融資
貸付額は百万円まで
市と労働金庫の協同融資により市内に土地、建物を購入または新築、増改築をする人に資金貸付けを行ないます。貸付金額は一人百万円まで、利率は年六・二パーセント、保証人は二人を必要とします。担保が必要な場合もあります。労働金は団体保証が必要です。
受け付けは五月一日からですが貸付枠を超過した場合は締め切ります。申し込みは市役所工業課労働係（電話24局一一一内線三四）または労働金庫本店営業部（電話31局五三〇一）へ。

ベテラン病など
近年難病患者の見舞金
支給範囲が広がる

市では、四十七年四月から完治しにくい五疾病患者の保護者に、見舞金を支給していますが、四月一日から支給範囲が広がり、次の病名の人にも対象になりますので、該当者は申請してください。

【対象となる病名】ベテラン病・重症筋無力症・全身性エリテマトーデス・多発性硬化症・再生不良性貧血

【支給資格】日本国民で本市に居住し、住民票に記載されている人となります。

【申請方法】市役所庶務課社会係(電話24局一〇一内線三五二)へ申請してください。

「手話通訳者」を設置
市役所1階市民相談室へどうぞ

市では、手話通訳者設置事業として、聴覚障害や音声または言語機能障害の者が、市役所、福祉事務所などを訪れて、窓口事務や相談を行なう場合に、手話通訳者によって、意思の疎通が円滑に行なわれるようにと、今年から新たに「手話通訳者」を設置しました。

この手話通訳者は、毎週火曜日から金曜日の午前九時から午後四時まで、市役所一階市民相談室で相談に応じます。お気軽にご利用ください。

「交通安全」の安全な乗り方初級検定
指導・練習日は五月十一日(土)

午後一時三十分から四時まで。検定日は五月十二日(日)午前九時から十一時三十分まで。対象は、小学校四年生から中学生まで六十人。希望者は、五月八日(水)から受け付けます。直接来館するか電話で申し込みください。費用は無料。検定に合格した人には、合格証をお渡しします。

【交通安全】土曜の輪を観測しよう

五月十八日(土)午後六時から

「交通安全」の安全な乗り方初級検定
指導・練習日は五月十一日(土)

次に、ろうあ者世帯ホームシングナル設置事業として、ろうあ者のご家庭で屋内のラングが点滅する押ボタンの設置を補助しようとする人に対し、市が経費を補助します。

補助額は、五千円を限度とし、今年度は十世帯分を補助することになりました。この補助金を受けられる人は、①本市に居住し、住民票に記載されている人。②身体障害者福祉法に規定する身体障害者手帳の交付を受け、同法施行規則の別表第五号の三級以上に該当する聴覚障害者。③單身世帯および配偶者が同等の障害を有する世帯ならびに同居者が児童および老人であることとなっています。

○詳しいことは、市役所三階厚生課(電話24局一〇一内線二一七)へお問い合わせください。

在宅心障害児母子通園教室

「たんぼぼ学園」が開園

江木町の赤城野荘敷地内に建設中だった在宅心障害児母子通園教室「たんぼぼ学園」が落成、四月十三日に開園しました。

この施設は、親と子供が月二回通園し、精神療育等の生活指導訓練や脳性マヒ等の機能回復訓練を受ける施設で、市の補助と前橋あそび会・前橋手をつなぐ親の会・前橋肢体不自由児父母の会・建設募金委員会・地域のみなさんなどたくさんのかたがたの善意と協力によって建設されたものです。

児童文化センターだより

八時三十分まで(雨天・曇天の時は翌日)。対象は、小学校四年生以上中学生まで六十人。講師は桐生市立川内中学校関口孝さん。費用は無料。希望者は、五月七日から十二日までに来館するか電話で申し込みください。なお当日は、筆記用具を用意してください。

【英会話教室】やさしい英会話を楽しく学習しよう

学習日は、五月十八日から十二月二十日まで、毎月第一・第三土曜日の午後三時から四時三十分まで。会場は、センター二階視聴覚室。講師は城東小学校古沢茂夫さん。

通園希望のかた、または施設について詳しく知りたいかたは、市役所厚生課(電話24局一〇一内線二一七)または前橋あそび会(電話31局二五三〇)へお問い合わせください。

精神薄弱者通園施設

「光明園」が開園

十八歳以上(特別の場合は十五歳以上)の精神薄弱者で、雇用されるのが困難な人を入所させ、自然に必要な訓練を行なうことを目的とする施設として、社会福祉法人前橋あそび会精神薄弱者通園施設「光明園」が四月一日から開設しました。

定員は四十人。通園方法は、通園用マイクロバスまたは一般バス・電車を利用。入所希望者は、前橋市福祉事務所福祉第一係(電話24局一〇一内線三八)へ申し込みください。お問い合わせも同所へ。

労働福祉施設資金融資

申し込みは5月31日まで

市では市内の中小企業者および中小企業者団体で、事業所内に食堂、更衣室、休憩室、宿泊施設、浴室、幼児ハウスなどを設置する場合の「労働福祉施設資金融資」を行なっています。

融資額は中小企業者が一千万円以内、中小企業団体が二千万円以内。期間は一年の据置期間も含めて五年以内割賦償還。融資利率は七パーセント以内。希望者は五月三十一日までに市役所庶務課(大町三丁目十五番五号、電話31局四五二四)へお送りください。応募者のなかから地域、年齢、職業等を考慮して選考します。

国民年金保険料は
お近くの金融機関へ
納入通知書で納入

四十九年度の国民年金保険料の第一期(六月納期)第二期(九月納期)は、お近くの金融機関へ納入してください。

【りようぶ十株・しもつけ十株・だんご十株】富士見村大字赤城山ニュー赤城パノラマ(市来勉社長)から市営バラ園へ。

【ぬいぐるみ百個】総社町総社一〇三四(株)カント手芸から上毛愛媛社へ。

【きんもくせい五本】山王町四六七生形兵馬さんから。

【現金四百八十円】横浜市鶴見区矢向五丁目十一八金井誠司さんから(義理金として)。

【現金三万円】大野寅雄さんから(沢渡温泉老人会へ)。

七パーセント以内。希望者は五月三十一日までに市役所庶務課(大町三丁目十五番五号、電話31局四五二四)へお送りください。応募者のなかから地域、年齢、職業等を考慮して選考します。

【りようぶ十株・しもつけ十株・だんご十株】富士見村大字赤城山ニュー赤城パノラマ(市来勉社長)から市営バラ園へ。

【ぬいぐるみ百個】総社町総社一〇三四(株)カント手芸から上毛愛媛社へ。

【きんもくせい五本】山王町四六七生形兵馬さんから。

【現金四百八十円】横浜市鶴見区矢向五丁目十一八金井誠司さんから(義理金として)。

【現金三万円】大野寅雄さんから(沢渡温泉老人会へ)。

詩のふるさと・前橋

萩原朔太郎

朔太郎忌

最初の詩集「月に吠える」を出してから、約二十五年間、朔太郎の文学生活は晩年に至ってもおとろえることを知らなかった。東京・世田谷に自分設計の家を建て、執筆生活は休みなくつづけられた。昭和十六年の夏の終り、伊香保温泉に滞在した時にひきこんだ風邪がもとで、健康であった体もしいだにおとろえ、その年の暮あたりから、家にとじこもり、訪問客にもほとんど逢わないうちで、あつたが、それが執筆の筆は折らなかつた。昭和十七年五月十一日、午前三時、肺炎を併発し、詩人は五十七歳の生涯をこじた。五十七歳といえは、あまりにも惜しみある人生であった。自宅の庭には藤の花が、こぼれ散るように咲いていたという。朔太郎は生前、庭に白梅、沈丁花、あじさい、梧桐(あおぎり)などを植え、それらの植物を愛したというが、中でも茶の間から見える場所に藤棚をつくり、この花の季節を楽しんだという。そういえば若い頃、マンドリンに熱中していた朔太郎は、前橋駅前の上毛倉庫の東にあった「天野藤園」でしばしば友人達との集りをしたのも、この花との関係の思ひをいかに示している。紫色にたれるその房は、どこか貴公子然として優美でさえある。朔太郎の詩にも「五月の貴公子」という作品があるが、五月はいろいろな意味で「朔太郎の季節」でもあった。葬儀は佐藤惣之助が委員長で東京で行なわれたが、遺骨は前橋の政淳寺にある萩原家の墓に埋葬された。法名は光英院釈文居士。政淳寺は現在田口町にあり、この詩人を慕って墓参する人がたえないという。時には詩集・句集・歌集などが四季の草花と共に供えられていることもある。

ところで、萩原朔太郎の著作はおびただしいものがある。生前刊行した著書だけでもざっと次のようなものがある。

詩集十種、アフォリズム集四冊、詩論集四冊、研究及び鑑賞的著作三冊、評論集二冊、随筆集二冊、小説一冊、編集三冊である。この他にも未刊のもの多数あり、これまでに「萩原朔太郎全集」は三度編集され、刊行された。

昭和十九年に小学校から全十巻、別冊二巻。昭和二十六年に創元社から全八巻。昭和三十三年に新潮社から全五巻。というようにそれぞれ発行されたが、一詩人の全集がこれほど編まれることは日本文学史上でもめずらしいことである。

最近では五月になると「朔太郎忌」が毎年行なわれるようになった。この行事は市立図書館に事務局を置く「萩原朔太郎研究会」(会長西脇順三郎)と「前橋市立図書館」の共催で、昭和三十八年から実施されているが、この詩人を生んだ前橋の季節行事として、全国に知られるようになった。この日には全国各地から愛好者が集り、詩人にふれ、そのふるさと前橋の五月を散策して行くという。萩原朔太郎の永遠の詩魂は、そのふるさとを抜きにして語ることができない。

月曜の午後と火曜・祝日は休館
電話24局二五四八

題字・伊藤信吉